

第1学年〇組 英語科学習指導案

令和6年 〇月〇日 (〇)
第5校時 1年〇組 教室
指導者 T1

1 単元名 Unit7 New Year Holidays in Japan (Here We Go! ENGLISH COURSE 1)

2 単元について

(1) 題材観

本課は、一般動詞や be 動詞の過去形についての学習である。今までの現在形を用いた文から、いよいよ過去形が導入される。これまでに学んだ現在形の文を過去形にすることができるようになるれば、単純に考えれば、英語で表現できる力が約2倍に増えるということである。現在形の文だけでは、現在のことと習慣に関することしか表現できなかったのが、過去形の文が導入されることによって、幅広い過去のことも表現できるようになる。実際、日本語での日常の会話においても、過去のことについて話をしていることが非常に多いことがわかる。一口に「過去のこと」といっても、例えばついさっきのこと、昨日のこと、先週のこと、1年前のもののように、いろいろな「過去」があるからである。

また、本課では冬休みの出来事に絡めて、登場人物がどんな冬休みを過ごしたかについて話している。また、年末年始の様々な行事や、正月の風物詩などにも触れられていることから、生徒たちにとっては自分たちの生活と結びつけながら題材に触れることができる。学習を通し、自分たちはどんな冬休みを過ごしたかについての表現活動につなげることで、学習指導要領(平成29年告示)目標の(2)「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。」に迫ることができると考えられる。

(2) 生徒観

(省略)

(3) 指導観

本単元のゴールは、ALTに宛てて、自分たちの冬休みについて伝えるはがきを書くことである。生徒にとって身近な目的・場面・状況を設定し、伝達する相手を明確にした上で、書かせることで効果的に「書くこと」の指導を図っていききたい。

小学校6年生の「Unit4 Summer Vacations in the World 夏休みの思い出を紹介しよう」と「Unit7 My Best Memory 小学校の思い出のアルバムを紹介し合おう」で過去を表す表現を学んでいる。しかし、小学校では、目的、場面、状況の中で過去を表す表現を使ってきたので、過去形という文法事項とし学ぶことは初めてである。そこで、小学校で学んできた内容を中学校で整理しながら、過去形を使いこなす言語運用能力を高めたい。

本課ではまず、一般動詞の過去形について学習する。これまでに学習してきた三人称単数現在形では、主語の人称や数によって、一般動詞の形を三人称単数現在形に直すかどうかを判断する必要があり、生徒にとって負担が大きかったように感じる。一方、過去形の文においては、主語の人称や数が何であれ、一般動詞の形を過去形に直すことができれば文が完成するため、生徒への負担は少ないように感じる。しかし、実際に一般動詞の過去形と言っても、①動詞の原形の語尾に-edを付ける【規則動詞】と、②動詞の原形そのものが変化していく【不規則動詞】の2種類があり、今まで習ってきた動詞や、これから習う動詞が一体どちらの方法で過去形にしていくのかを覚えていく必要がある。更に、-edの付け方や-edの発音にもいくつかのパターンがあるため、口頭練習や小テストなどを定期的に取り入れていながら、規則動詞や不規則動詞の過去形の定着をはかりたい。

次に、be動詞の過去形を学習する。一般動詞の時と同様に、今まで習ってきた「am / is / are」を用いた文をベースに、それぞれのbe動詞を過去形にすることができれば、文は完成する。しかし現在形では3種類だったbe動詞が、過去形では「was/were」の2種類となるため、一般動詞とあわせて口頭練習や小テストなどを定期的に取り入れていながら、定着を図りたい。

最後に、一般動詞やbe動詞の過去形の疑問文や否定文について学習する。一般動詞の過去形の疑問文や否定文の場合、例文を提示しながら既習事項の「Do / don't」を用いた疑問文や否定文と

比較させ、一般動詞の過去形の疑問文や否定文の特徴や、きまりなどについて生徒に考えさせたい。そこから、「Do」ではなく「Did」を使うことや、疑問文や否定文においては動詞の形を原形に戻すことなど、大切なことを生徒たちから引き出したい。

以上のように、文法事項を学びながら、本単元のゴール（ALTに宛てて、自分たちの冬休みについて伝えるはがきを書くこと）に向けて学習を進めていく。

3 本事業研究主題

「見える学力の育成 ～ALTの参画とタブレットの効果的な活用を目指して～」

本校では昨年度まで南中学校学校経営案で設定された最重点「学ぶ力を伸ばす」のもと、「学ぶ力」の育成を研究主題として取り組んできた。これは、生徒が自ら主体的に学ぶ態度や学ぶ力を育成することにより、見える学力（認知能力）の伸長へとつなげることを目指して取り組んできたものである。本研究を通して、生徒の自己肯定感や主体的に学習に取り組む態度などについて、質問紙調査の肯定的回答率が少しずつ向上し、成果を確認できた。今年度はこれまでの研究成果を基盤としつつ、さらに見える学力においても明確に伸長が示されることを目指して、実践の研究を進めていく。

また、英語科としては、「令和5年度埼玉県英語指導方法改善事業実施要項」に掲げられている取組内容の中で、デジタル教科書等のICT機器の効果的な活用とALTの授業への参画を重点として取組を推進していく。

4 単元の目標

ALTに宛てて、自分たちの冬休みについて伝えるはがきを書くために、一般動詞やbe動詞の過去形を活用しながら簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。

- ・一般動詞やbe動詞の過去形の特徴やきまりを理解し、それらをもとに自分たちの冬休みについて体験したことや感じたことを英語で書く技能を身に着けている。 〈知識及び技能〉
- ・ALTに宛てて、自分たちの冬休みについて伝えるために、体験したことや感じたことをまとまりのある文章で書いている。 〈思考力・判断力・表現力等〉
- ・ALTに宛てて、自分たちの冬休みについて伝えるために、体験したことや感じたことをまとまりのある文章で書こうとしている。 〈学びに向かう力、人間性等〉

5 単元の評価基準

（本単元における「聞くこと・読むこと・話すこと（やり取り・発表）」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと 書	<p><知識> 一般動詞やbe動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文について正確に理解している。</p> <p><技能> 冬休みの出来事について、一般動詞やbe動詞の過去形を用いて伝え合う技能を身に着けている。</p>	ALTに冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことについて事実や考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章をはがきに書いている。	ALTに冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことについて事実や考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章をはがきに書こうとしている。

6 単元の指導と評価の計画

	◆ねらい ○活動	評価		
		知・技	思・判・表	態
				◎評価基準<評価方法>

1	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 単元の目標について知る。 ◆ 一般動詞の過去形（規則動詞）を使った話を聞いたり，それらを使って話したり書いたりする。 				<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">本単元においては、第1時から第7時までは、目標に向けた指導は行うが、記録に残す評価は行わない。ただし、生徒の学習状況を把握し、学習改善や教師の指導改善に生かすことは毎時間行う。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般動詞の過去形を用いて、与えられたテーマについて話したり、書いたりする。 ○ 一般動詞の過去形（規則動詞）の特徴やきまりについて、言語活動を通して理解する。 				
2	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 一般動詞の過去形（不規則動詞）を使った話を聞いたり，それらを使って話したり書いたりする。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般動詞の過去形を用いて、与えられたテーマについて話したり、書いたりする。 ○ 一般動詞の過去形（不規則動詞）の特徴やきまりについて、言語活動を通して理解する。 				
3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本文の内容を捉え，文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般動詞の過去形が用いられた教科書本文の内容を理解する。 ○ 本文の音読活動を行う。 ○ 日本の冬の風物詩であるものたちに触れ、それらをもとに生徒たちがどんな冬休みを過ごしたかについて、自分の言葉を用いて他者に伝達する。 				
4	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 一般動詞の過去形の疑問文や否定文を使った話を聞いたり，それらを使って話したり書いたりする。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般動詞の過去形の疑問文や否定文を用いて、与えられたテーマについて話したり、書いたりする。 ○ 一般動詞の過去形の疑問文や否定文の特徴やきまりについて、言語活動を通して理解する。 				
5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本文の内容を捉え，文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般動詞の過去形の疑問文や否定文が用いられた教科書本文の内容を理解する。 ○ 本文の音読活動をする。 ○ どんな冬休みを過ごしたかについて、相手にたずねる。 				
6	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本文の内容を捉え，文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◆ 一般動詞を用いた過去形の肯定文、疑問文、否定文を総復習する。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般動詞の過去形の疑問文や否定文が用いられた教科書本文の内容を理解する。 ○ 一般動詞を用いた過去形の肯定文、疑問文、否定文の特徴やきまりを復習する。 				

7	◆ be 動詞の過去形を使った会話を聞いたり, be 動詞の過去形を使って話したり書いたりする。				
	○ 一般動詞の過去形を用いて、与えられたテーマについて話したり、書いたりする。 ○ be 動詞の過去形の特徴やきまりについて、言語活動を通して理解する。				
8	◆ 本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 ◆ ALTに伝えたい冬休みの出来事について構想を考える。				
	○ be 動詞の過去形が用いられた教科書本文の内容を理解する。 ○ 本文の音読活動を行う。 ○ 原稿モデルを提示し、まとまりのある文章とはどのようなものなのか具体的なイメージを持つ。 ○ 関連するキーワードなどを挙げて、伝えたい内容の構想を考える。	書			<知識> 一般動詞や be 動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文について正確に理解している。〈ワークシート分析〉 <技能> 冬休みの出来事について、一般動詞や be 動詞の過去形を用いて伝え合う技能を身に着けている。〈観察〉
9 本時	◆ ALTに冬休みの出来事を伝えるために、事実や考え、気持ちなどについてまとまりのある英文を用いて、ALTに宛てて、はがきを書く。				
	○ 「まとまりのある文章」とはどのような文章なのか、はがきを書く上でのポイントを再度確認する。		書	書	ALTに冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことについて事実や考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章をはがきに書いている。〈ワークシート分析〉 ALTに冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことについて事実や考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章をはがきに書こうとしている。〈観察〉
10	◆ ALTに宛てて、冬休みの出来事を伝えるはがきを書く。 ◆ クラスメイトが書いた、ALTに宛てて書いたはがきを読み、感想を伝え合う。				
	○ ALTに宛てて書いたはがきを完成させる。 ○ できあがったはがきをクラスメイト同士で読み合い、感想を述べる。		書	書	ALTに冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことについて事実や考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章をはがきに書いている。〈ワークシート分析〉 ALTに冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことについて事実や考え、気持ちを整理し、まとまりのある文章をはがきに書こうとしている。〈観察〉

7 本時の展開

(1) 目標

ALTに冬休みの出来事を伝えるために、事実や考え、気持ちなどについてまとまりのある英文を用いて、ALTに宛てて、はがきを書く。

(2) 準備 ○パワーポイント ○学習プリント

(3) 本時の展開

過程	○学習活動 ・学習内容	・指導上の留意点 ◎評価 <評価方法>
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつ ○ 英語で日常会話のやり取り [週・月・天気の確認等] ○ ウォーミングアップゲーム <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>質問例 ALT: Where did you go last Sunday? What did you watch on TV yesterday?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ ALTの冬休みについて書かれた掲示物を見ながら、オーラルインタラクションで内容理解を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への心構えを持たせる。 ・ 質問に対して答えるゲームを通して、既習事項である過去形を自然に使わせることで本時の展開につなげる。 ・ ALTの冬休みについて書かれた掲示物をもとに、ALTの冬休みについてクイズ形式で確認をしていく。この時に使う掲示物は、実は事前に廊下等に掲示物として掲示されているものであり、生徒にとっては初見ではない。 ・ パワーポイントを用いて、掲示物の中にある過去形の文をピックアップして写し、過去形の文のきまりを確認する。
展 開 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて/ねらい</p> <p>冬休みについての出来事や感想をまとめ、ALTに伝えるためのはがきを書こう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入で行ったインタラクションの内容を参考に、キーワード・キーセンテンスを復習する。 ○ 自身の冬休みを振り返り、伝えたい内容をピックアップする。(ワークシート) ○ はがきの構成を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助発問例「自分にも当てはまる、見えそうな表現はあったかな？」 ・ 生徒から挙げられたものを板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) I enjoyed～./ It was～. / I was～. 等</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を書くことに課題がある生徒は、まずは日本語から内容を組み立てさせる。 ・ 既習事項を活用できることを指導する。(教科書・ノート・タブレット・今までのワークシート等) ・ 教科書P114にある、構成について①～⑥を意識させる。 ・ なるべく簡単な語句や文を使って英文を考える。また、日本語の段階で難しい表現を使っている場合には、よりわかりやすい表現に変換できるよう助言を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>中間指導のポイント</p> <p>【内容面】 「はがきの構成」について生徒同士で考えさせ、次のような表現などを生徒とのインタラクションの中で引き出す。 How are you? How was your winter vacation? など</p> <p>【言語面】</p> </div>

	<p>まとまりのある文章を書くときのポイント</p> <p>①読み手を意識し、誰に対して伝えるのかを想定する。</p> <p>②読み手に伝わり、話し手の伝えたい内容が理解できる表現を使う。</p> <p>③伝える内容、事実関係や順序などを整理する。</p> <p>④自分の考えや気持ちを明確にする。</p>	<p>過去の出来事を表現したい時は、こういった動詞が使えるかを改めて気付かせられるよう、生徒とのインタラクションの中で引き出す。</p> <p>I went to～. / I enjoyed～. / It was～. / I was～. など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ALT と JTE で机間指導を行いながら、適宜アドバイスを行う。 ・ 進度が速い生徒に対しては、デモンストレーションを行い、良かった点を板書し、全体で共有する。 ・ 情報量を増やしたり、より具体的に説明したりするよう、指導・助言をする。 <p>◎ 冬休みの出来事について、一般動詞や be 動詞の過去形を用いて伝え合う技能を身に着けている。〈ワークシート分析〉</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">終末 3分</p>	<p>まとめ／振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬休みのことに限らず、一般動詞や be 動詞の過去形を使えば、過去のある出来事について自由に表現することができる。 ・ ALT に宛てて、冬休みの出来事を伝えるはがきを書くための内容構成を考える際に、() することができた(できなかった)。次回は()を付け加えたい。 	<p>○ 次時の予告</p>

8 備考

在籍 39名